

# 呼 応

御嵩町立向陽中学校  
生徒指導通信 No.2  
平成28年 5月11日(水)

## 築いてきた『土台』を習慣として実行してこそ、本当の力

5月2日(月)朝、今年度最初のPTA街頭指導を行いました。そこでいただいた言葉を紹介します。

- どの子どもたちも、良いあいさつができていて、聞いていると気持ちがよかったです。
- 皆、元気にあいさつ出来ていました。
- ずいぶん遠くから挨拶する生徒がいます。軽くおじぎしながら言える生徒が多いです。
- すすんで声をかける子も多かったので、楽しかったです。顔見知りの子たちが大きくなっていたのを見る事ができました。ありがとうございました。
- こちらから声をかける前に、挨拶をしてくれる子が多く、気持ち良く立つことができました。

朝、私が校内を点検して回っている時も、多くの生徒が気持ちの良い挨拶をしてくれます。みなさんの気持ちの良い挨拶から、私自身も“清々しさ”や“元気”をもらっていることを実感します。だから、笑顔で挨拶を返したくなったり、「次に会った生徒には、もっと元気な挨拶をしよう」という気にさせられたりします。きっとこれが、挨拶の“呼応”なのだろうと思っています。

向陽中の伝統3本柱(つまり向陽中の『土台』)の1つと自負する「挨拶」です。校内はもちろん、地域へと広がっていくことを期待しています。

さて今回は、1年生の姿を紹介します。

1年生は、まだ入学して1ヶ月あまりです。先輩たちと比べれば、かなわない所はたくさんあります。しかし挨拶については、先輩たちと比べても、全く引けをとりません。

入学式では、新入生代表が「私たちは、小学校で挨拶を大切にしてきました。」と語りました。そして1年生は、今もそれを習慣として実行しています。

環境が変わっても実行できるということは、自分の行動に自信があるからであり、本当の力になっている証拠です。小学校での経験を基にして、向陽中生としての『土台』の1つを、確かに築けています。

どの学年・学級も、第1ステージで築いた『土台』は、自身や学年・学級の宝とし、習慣としてずっと大切にしていってください。1つの自信(本当の力)は、そこからどんどん他のよい力へと発展していくものです。例えば、3年生の給食配膳での姿も、他へと発展していける素晴らしい力の1つだと思っています。

### 生徒・保護者・教職員が一体となって 共に考え、共に学ぶ

大型連休が終わりました。どんな生活ぶりだったでしょうか。保護者のみなさんから見て、「わが子ながら、なかなか充実した休みだったなあ。」と思われたら、「休み中のこの姿がよかったよ。」と具体的な例をあげてほめてやってください。

また、生活のリズムがくずれてしまった生徒もいるかもしれません。

朝決まった時間に起きる。きちんとした身だしなみで出かける。出かけのあいさつをしっかりと。課題や忘れ物をしない。こうした生活の基本を、保護者と共に見直していくことが、リズムを取り戻すきっかけになると考えています。

悪い習慣は身につつきやすく、取り除きにくいものです。良い習慣は身につくまでに時間がかかりますが、自分を大きく成長させます。生活のリズムも大切にしていましょ。